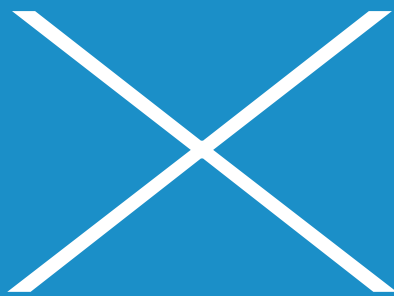


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sugitec

BOOKLET



「SDGsとは」

SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。「誰一人取り残さない」を基本理念として、持続可能で多様性と包摂性（社会のすべての人に配慮を払うこと）のある社会実現のため、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会全体で取り組むべき目標です。

2030年を目標年として、「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など、国際社会共通の17のゴール（目標）とゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）から構成されています。

SDGsは政府や企業を含むあらゆるステークホルダーがその目標達成に向け、主体的に貢献することが期待されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



有限会社 スギテック

<https://www.sugitec.net/>

本 社 〒615-0055 京都府京都市右京区西院西田町 94 番地 TEL. 075-326-1126

東京支店 〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 7 階 TEL. 03-6894-4075
営業本部

東京支店 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 6 丁目 13-21 TEL. 03-6277-2740
生 産 部

三 重 〒515-0063 三重県松阪市大黒田町 308-23 播磨ビル 1F-A TEL. 0598-26-5290
営 業 所

スギテックの取り組みは下記のQRからもご確認いただけます。



<https://sdgs.sugitec.net/>

UD
FONT
by MORISAWA

見やすい
ユニバーサルフォント
を採用しています。

SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、ライフサイクルコストを考え、建物を活かし続ける建物診断事業を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを宣言します。

2022年2月

有限会社スギテック 代表取締役 杉山 達哉

安心安全な街づくりへの貢献

最新技術を用いた建物診断を通じて建物の長寿命化を実現するなど、社会に役立つサービスを提供してまいります。



先端テクノロジーを駆使する社員たち

最先端技術を持った多様な人材を活かし、全社員が活躍できる職場環境づくりを行ってまいります。



未来のためにできること

地域の様々なコミュニティと積極的に交流・連携し、地域社会の発展に貢献できる活動を行ってまいります。





主な取り組み内容

安心安全な 街づくりへの貢献

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



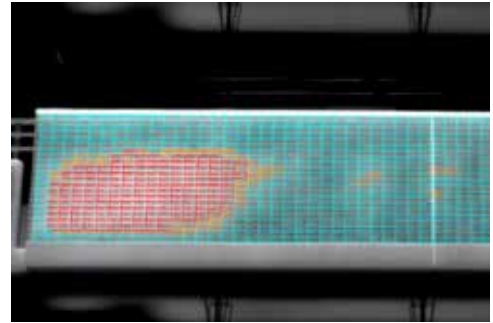
9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



建物診断ツールの共同開発

人工知能 AIによって、タイル張り仕上げ外壁建築物の赤外線カメラの熱画像処理・解析を自動化するソフトをゼネコンとともに開発いたしました。適切な条件のもとに赤外線カメラで撮影された外

壁タイル熱画像をタイル自動割付機能により正確なタイル数に分割、さらに独自のAIアルゴリズムを用いたタイル浮き判別機能によりタイル浮きを自動的に判別することが可能になり、属人性のない効率的な解析作業ができるようになりました。今後も効率化のための技術革新を続けて参ります。



11 住み続けられる
まちづくりを



AIを活用した建物診断ツールによる適正な診断

「タイル浮きのAI自動解析」でタイル浮き判別機能に利用されている独自 AIアルゴリズムをはじめ、コンクリート建造物のひび割れを「抽出と選択」そして「ひび割れを分類解析」する AIアルゴリズムや、

ステンレス屋根の溶接不具合を解析できる AIアルゴリズムを駆使し、建築物の安全性を正しく可視化できる「建物診断」を通じて、安心して住み続ける街づくりとサステイナブルな社会実現に貢献して参ります。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



公益社団法人ロングライフビル推進協会の加入

SUGITECは創立から建築物の安全確保・長寿命化のための「技術開発」「調査・診断」「補修・改修施工」、この3つのソリューションをワンストップで提供できる事業活動策および建設設備の適切な維持保全の推進し、国内における良好な

建築ストック社会の形成に寄与することを目的とする公益社団法人ロングライフビルよりこれまでの実績を評価され、2020年(令和2年)1月1日より、「公益社団法人ロングライフビル推進協会 BELCA(ベルカ)」の正会員となりました。

SUGITECはこれからも建築構造物の適切な維持保全に務めるとともに、BELCAの目的である良質な建築ストック社会へ寄与していきます。





主な取り組み内容

先端テクノロジーを 駆使する社員たち



4 質の高い教育を
みんなに



資格取得に向けた社内勉強会の実施

社員に各種国家資格試験受験費用の会社負担ならびに国家資格取得者に資格手当を支給、働きがいのある職場づくりとスキル向上に向けた環境構築をしています。また CPD(継続職能研修) セミナーの

実施を通し、担い手育成のために維持保全技術アカデミー創設を目指しています。その歩みは古都京都の街並みを維持保存し、安心安全な災害に強い街づくりに貢献して参ります。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性社員の積極的な雇用

女性が働きやすい職場環境を整えることは、女性に限らず誰にとっても働きやすい職場環境につながります。SUGITEC は「女性活躍推進」に積極的に取り組み、「ダイバーシティ&インクルージョン」の

実現を目指しています。現に、SUGITEC の調査・解析班は多才な女性社員で編成され、赤外線カメラの撮影からドローン調査や解析分析と報告書作成等の業務に日々取り組んでいます。

8 働きがいの
経済成長も



外部講師を招いた研修の実施

資材メーカーから外壁補修のベテラン講師に来て頂き、担い手育成を目的とした作業員の技術向上および教育訓練、研修活動の取り組みを推進しております。また、スギテック安全衛生協力を定例開催しており、

作業員への安全衛生に対する意識の向上と教育や労働災害防止のための調査・対策に取り組んでいます。今後も社内の遠隔コミュニケーションに Web 会議の活用、紙からタブレットへの転換利用、ホロレンズ (AR 技術) を活用した外壁調査システム開発、ドローンに技術の活用等、生産性向上を推進して参ります。





主な取り組み内容

未来のために できること

2 飢餓を
ゼロに



4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



2 飢餓を
ゼロに



京都こども宅食プロジェクトへの協賛

京都市内で支援を必要としているご家庭に、定期的な食糧支援を通じ、見守り活動を行っている京都こども宅食プロジェクトを通じて食料だけでなく、記憶に残る体験のプレゼントとして、京都ハンナリーズのスポンサーである SUGITECとしてホームゲームチケットを贈呈するというプロジェクトに微力ながらも協賛させていただきました。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



地元スポーツチームへのスポンサー支援

スポーツから生まれる感動や人々に夢を与える力は個人だけでなく、社会全体にも活力を与えます。SUGITECでは常に地元企業や社会との共生と共に成長していくという意識を忘れず、またスポーツ活動の

普及と拡大のため、スポーツ振興活動の一環として地元である「京都サンガ F.C.」のオフィシャルスポンサーとして協賛しております。そして、京都から2番目のJリーグ入りを目指す「おこしやす京都AC」へもパートナー企業として協賛。さらに、京都のプロバスケットボールチームである京都ハンナリーズにブルーパートナーとして応援しております。





主な取り組み内容

スタッフ個人の SDGs活動サポート

12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



12 つくる責任
つかう責任



マイペットボトル活動(プラごみ削減)

日本で増え続けるプラスチックごみは年間で900万トン。アメリカに次いで世界第2位。国内だけで年間200億本のペットボトルが使われているとも言われています。

プラスチックは自然回帰が難しい素材。海洋プラスチック問題などの社会課題も深刻化しており、このままなら2050年には海の魚の量をごみが上回るという予測まで出始めています。

繰り返し使えてゴミを減らせるサステナブルなマイボトル。

私たち SUGITECはマイボトル活動を通じ、SDGsにも寄与する取り組みを進めています。

12 つくる責任
つかう責任



印刷・紙の削減活動

ペーパーレス化の推進を通じて、森林破壊の抑制に取り組み、地球温暖化や大気・水質汚染の防止に貢献します。3R(リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle))の実施。そして、エコアクション21に参加致します。

内勤・工務・調査の各部署で日常業務から貢献できることとして、社内文書の電子化・Web会議活用・電子契約の活用・Web帳票・電子給与支給票(PDF)・グリーン調達をより進めて参ります。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



エコキャップ活動

リサイクルの促進、CO₂の削減、売却益による発展途上国への医療支援などを目的とした「エコキャップ運動」に取り組むべく、社内にキャップ回収箱を設置。社員数も多くない為、集められる個数は限られますが、

今まで捨てていたペットボトルキャップが、少しでも環境保全や途上国への支援に繋がればという思いで始めた活動です。CO₂削減になるだけでなく、リサイクル過程での雇用創出や売却益を活用した支援活動など、あらゆる可能性が考えられる活動であるため、今後も積極的に取り組んでいきます。

